

2日 金曜

マルコ



11:11 こうしてイエスはエルサレムに着き、宮に入られた。そして、すべてを見て回った後、すでに夕方になっていたので、十二人と一緒にベタニアに出て行かれた。

11:12 翌日、彼らがベタニアを出たとき、イエスは空腹を覚えられた。

11:13 葉の茂ったいちじくの木が遠くに見えたので、その木に何かあるかどうか見に行かれたが、そこに来ると、葉のほかに何も見つからなかった。いちじくのなる季節ではなかったからである。

11:14 するとイエスは、その木に向かって言われた。「今後いつまでも、だれもおまえの葉を食べることがないように。」弟子たちはこれを聞いていた。

11:15 こうして彼らはエルサレムに着いた。イエスは宮に入り、その中で売り買いしている者たちを追い出し始め、両替人の台や、鳩を売る者たちの腰掛けを倒された。

11:16 また、だれにも、宮を通って物を運ぶことをお許しにならなかった。

11:17 そして、人々に教えて言われた。

「『わたしの家は、あらゆる民の祈りの家と呼ばれる』と書いてあるではないか。それなのに、おまえたちはそれを『強盗の巣』にしてしまった。」

11:18 祭司長たちや律法学者たちはこれを聞いて、どのようにしてイエスを殺そうかと相談した。群衆がみなその教えに驚嘆していたため、彼らはイエスを恐れていたのである。

11:19 夕方になると、イエスと弟子たちは都の外に出て行った。

葉ばかり良く茂って見た目には良く見えても、人を満たすような実がない信仰があります。イエスは律法学者やパリサイ人のように、見た目には良く見えても愛の実を結ばない人々について語られたのです。季節ではなかったというのは、まだ聖実による実を結ぶ時は先であるという意味かもしれません。実を結ぶには聖霊が必要です。見せ掛けよしよし方をしましょう。このように見せかけの宗教を否定ないイエスは、神殿で商売が成り立っている当時の状態は、さまに形だけの信仰が横行していたからです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は赦おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

